

## 司会方針

鈴木 健

## 前三回の総括

- 過去・現状分析と設計論
  - 第一回(石橋): 設計の場の設計が大事
  - 第二回(八田): 再定義可能性が大事
  - 第三回(楠): 設計って可能なのか?

設計論から社会設計へ

## スケールチェンジ

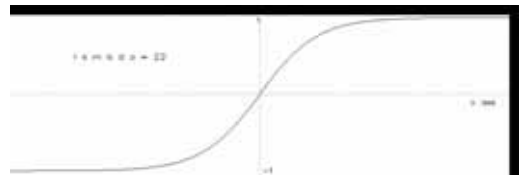
1. 時間スケール:
  - 10年後、20年後の人に読まれるような議論
2. 空間スケール:
  - 世界的に意義のある議論
3. テーマスケール:
  - ネット業界、IT業界以外の、あらゆる分野の人が関心をもつような議論

要するに普遍性を目指す

## 設計研の執拗低音 「なめらかな社会」

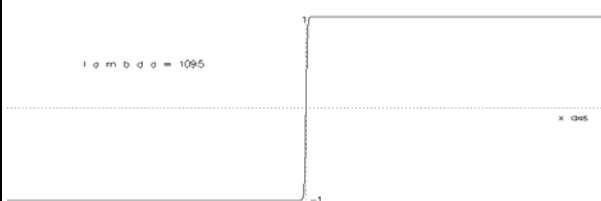
シグモイド関数

$$f(\lambda, x) = \frac{2}{1 + e^{-\lambda x}} - 1$$



## step

lambda = 1095



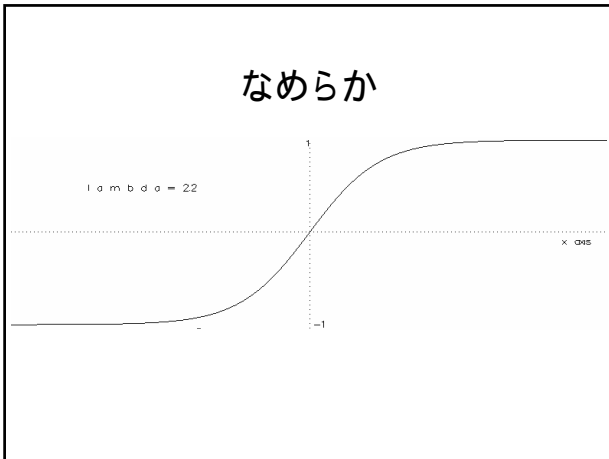
Stepを拡大するとなめらかになる

## flat

lambda = 00



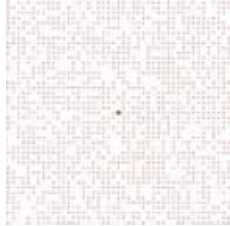
flatには非対称性(差異)がない



本当は  
なめらか

### なめらかでない概念

- 内側と外側
- 敵と味方
- ネットとリアル
- 生命と機械
- 人工と自然
- 生きると死ぬ
- 私は私、あなたはあなた



autopoiesis by  
Varela(1974)

### なめらかな社会へ

- stepからなめらかへ
  - 第四回:教育(井庭)
  - 第五回:企業(近藤)
  - 第七回:国家(村上)
- flatからなめらかへ
  - 第六回:鈴木健

